

令和3年度 芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「Joy of Music」(教育芸術社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽演奏」「音楽鑑賞」の3つの分野を年間通して学習します。
- ・「歌唱」では、発声の基礎を学び、1学期間で合唱曲(混声三部・四部)を1曲完成させます。
- ・「器楽」では、ギターや鍵盤楽器を用いて行います。2学期は伝統楽器「箏」を演奏します。
- ・「鑑賞」では、諸外国の音楽、日本の伝統音楽、現代音楽など、様々な音楽を鑑賞します。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 音楽への関心・意 欲・態度	b: 音楽表現の創意工 夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	題 材 名	学 習 内 容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	イ メ ー ジ を も っ て 豊 か な 声 で 歌 い あ げ よ う	【歌唱】 島人ぬ宝 夏祭り 思い出がいっぱい	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	3 部 合 唱 を 歌 い あ げ よ う	【歌唱】 合唱曲 「友～旅立ちの日に～」 混声3部合唱	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リ コ ー ダ ー 演 奏 を 楽 し ま う	【器楽】 「ジブリアニメメドレー」 2重奏	○	○	○		a: アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	交 響 曲 を 鑑 賞 し よ う	【鑑賞】 交響曲第3番 変ホ長調 op. 55 「英雄」 (ベートーヴェン)	○			○	a: 管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2 学 期	3 部 合 唱 を 歌 い あ げ よ う	【歌唱】 合唱曲 「桜の季節」 混声3部合唱	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組んでいる。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	箏 曲 2 重 奏 を 演 奏 し よ う	【器楽】 ほたるこい 2重奏	○	○	○	a:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズム、ハーモニーなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギ タ ー 弾 き 語 り に 挑 戦 し よ う	【器楽】 「なごり雪」 弾き語り	○	○	○	a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら表現を工夫している。 c:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	フ ァ ン フ ァ ー レ を つ く ろ う ！	【創作】 和音の分散、構成音を用いて旋律を創作、打楽器のリズムを加えファンファーレを創作	○	○	○	a:楽器の音色や和音の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b:楽器の音色や和音の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感じながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取 創作作品

3 学 期	3 部 合 唱 を 歌 い あ げ よ う	【歌唱】 合唱曲 「聞こえる」 混声3部合唱	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
-------------	---	---------------------------------	---	---	---	---	-----------------------

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。